

2  
月



学校教育目標 笑顔かがやく きれいな学校

美園小だより

URL <http://misono-e.saitama-city.ed.jp/>

平成29年1月31日  
さいたま市立美園小学校  
第70号 児童数1,206名

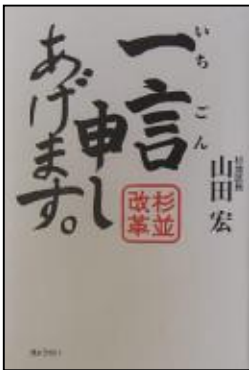
Tel 048(812)6611

Fax 048(878)6660

## 『不便・不自由』を活かす

校長 榎山 正春

最近読んだ全く別の書物に、どういうわけか似たような記述がありました。ちょっと長くなりますが、引用します。

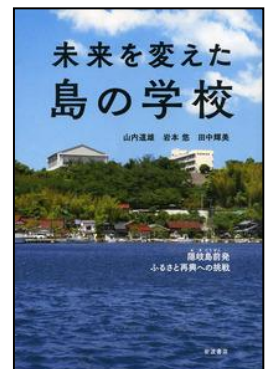


・・・教育で大事なことは、なんでも即物的に大人が解決しないで、むしろ子どもたちに対して、まず自分の力で環境を改善するということを教えることも必要である、ということです。

教育というのはそもそも、『不便、不自由、不親切』というものを意識しないと成り立ちません。わざと子どもに『不便、不自由、不親切』な環境をつくってあげるという大人の見識がないと教育はできないのではないかと。本当はもっと楽にできるはずなのに、子どもには教えて厳しい道を歩ませるということを通して教えるものがたくさんあります。・・・(「一言 (いちごん) 申し上げます。」 杉並区長 山田宏 著 ぎょうせい)

・・・島には、コンビニ、ゲームセンター、ショッピングモール、アミューズメントパークなど、早く簡単に楽しませてくれる、便利で快適なものがない。そうした環境だからこそ、忍耐力や粘り強さが育ち、限られた資源の中で“あるもの”をうまく活かして豊かに生きていく知恵が身に付きやすい。・・・日々の問題解決を通して課題発見力や解決力が鍛えられるのであり、不確実で不便、不自由な環境こそがたくましい人間を育てる教育環境である。

(「未来を変えた島の学校」 山内道夫・岩本悠・田中輝美 共著 岩波書店)



児童数増加、学級数増加に対応するための南校舎の建設工事が始まり、グラウンドの東寄りの一角が仮囲いで仕切られてずいぶん狭くなりました。業間休みのときなどはさながら夏の湘南海岸のようです。しかし、そうした中でも子どもたちは現実を受容し、お互いに譲り合いながら過ごしてくれています。このような“不便・不自由”は新設校が開校する平成31年4月まで続くと思われませんが、マイナス思考に陥ることなく、他者を思いやる心や仲間と助け合い協力する心を育て、いくらかでも快適になるように子どもたち自身が考えるよいチャンスだととらえていきたいと思えます。

保護者の皆様、地域の皆様にもご理解、ご協力をお願いします。

※「学校安心メール」にまだ登録されていない方は、是非登録をお願いします。登録されていないと万が一の緊急時に大切な連絡が届かず、たいへんに困ります。

※市内のどこか一か所でも「震度5弱」以上の地震が観測された場合には、「引き渡し」を実施します。学校からの連絡を待つことなく、ただちに来校をお願いします。